

地域の主体的な取組推進に向けた地域住民・地方議員の育成プログラム

応募様式ア

川西市グリーンハイツ青年部

事業の基礎情報

事業実施地域	兵庫県川西市
人材育成の対象	地域住民、地方議会議員
習得するスキル	交通に関する知見 ・ データ活用のノウハウ ・ コーディネートスキル
人材育成の手法	勉強会、ワークショップ
人材育成の内容	地域公共交通の主体的な取組推進に向け、地域のキーパーソンとなりうる地域住民・市議会議員を育成する
想定受講人数	約50名（地域住民：約40名、地方議会議員：約10名）
想定育成人数	約50名（地域住民：約40名、地方議会議員：約10名）

現状・課題

（地域交通に係る人材の現状・課題）

- 兵庫県川西市では、令和5年度に地域公共交通計画を策定し、令和6年度より計画に基づく取組みがスタートしている。今後、施策・事業を継続的に推進し、持続可能な地域公共交通を構築するために、自治体の担う役割は大きい。行政担当者は2～3年で異動することが多く、地域公共交通に対する知識やノウハウ、地域との関係性、熱意等がうまく継承されないこともしばしばみられる。
- 自治体の継続的な取組みやそのレベルアップに向けては、地方公共団体の執行機関たる行政とともに、車の両輪を担う**議決機関たる議会の役割**が大きく、地域の代表である地方議会の議員の地域公共交通に対する関心や知識・ノウハウを高めていく必要がある。
- また、各種取組みを自治体や交通事業者任せにせず、**地域や住民が「自分ごと」として捉え・取組む**ことも、施策・事業の継続性には不可欠である。

運輸局・運輸支局
への事前相談

近畿運輸局
（交通政策部交通企画課）

令和5年度共創モデル実証
プロジェクトの補助有無

無

—

取組の概要

(事業の概要)

- 前頁で記載の現状・課題を踏まえ、本事業では産官学民による地方議会議員および地域住民を対象とした人材育成プログラムを実施し、地域公共交通に対する基礎的な知識・ノウハウの習得や能動的に取組む姿勢・意識の醸成を図ること等を目的とする。
- 上記目的の達成のため、まず、川西市議会を中心とする地方議員(※1)を対象として、概ね月に1回程度の頻度で計4回の勉強会を開催する。勉強会では、地域公共交通における有識者や専門家等による講義、先進的な取組みを行う地域への視察等を行う。
- また、川西市多田グリーンハイツ(※2)の地域住民を対象として、ワークショップ(3回程度)を実施する。ワークショップでは地域公共交通活性化に向けたアイデア・取組みを話し合い、アイデアを具現化のうえ、その評価も行う。(上記市議会議員も参加予定)

(※1) 川西市、宝塚市、西宮市、伊丹市、尼崎市議会議員を予定
(※2) 1970年代より開発された住宅団地で、人口約13,287人、高齢化率40.7%(2024年3月現在)

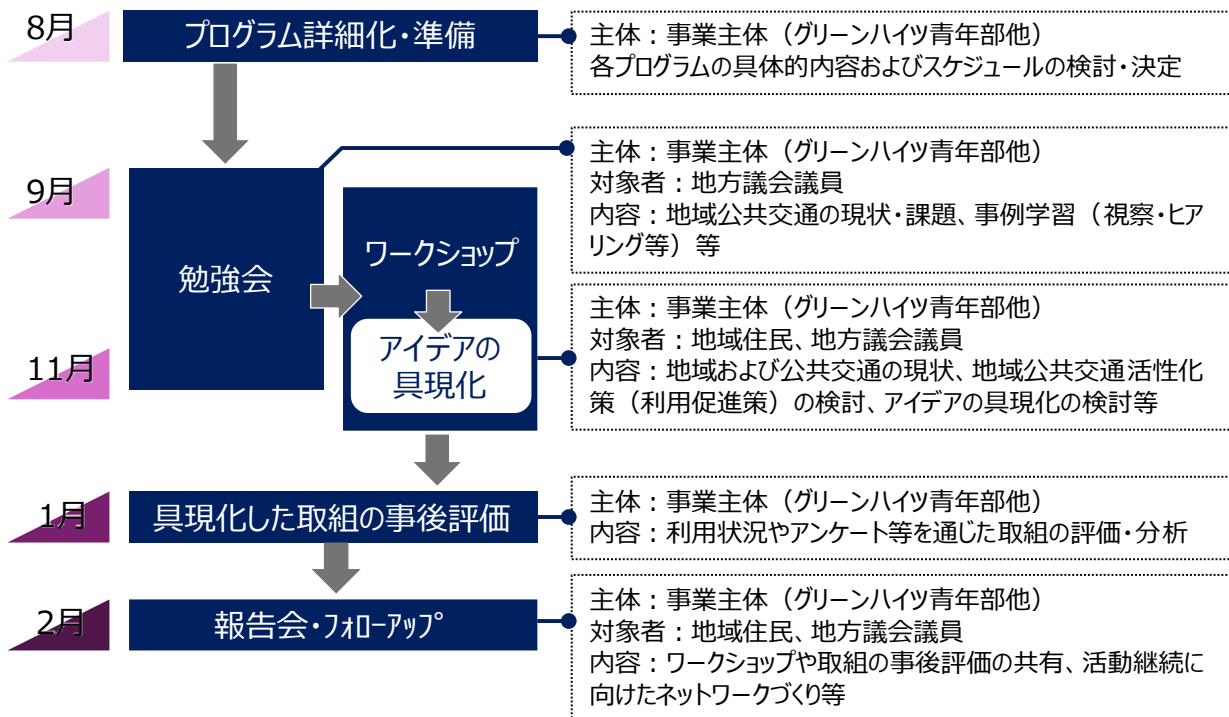
※プログラム実施に必要な関係者がいる場合、下記に具体的に記載してください。

プログラム実施に必要な関係者		関係者の役割
外部講師		勉強会の講師として参画し、地域公共交通に関する様々な知見や情報等を提供する。
コンサルティング会社		勉強会・ワークショップ・実績報告会の企画・実施等の支援を行う。 ワークショップ等で出てきたアイデアを具現化した取組みの調査・分析を支援する。
事業主体において、これまで同種の育成事業に取り組んだ実績の有無	有	①里山地域の交通課題解決に向けたビジネスモデル構築人材育成事業(阪急バス株式会社は、事業主体の構成員として参画)(令和5年度共創モデル実証プロジェクト 人材育成事業) 観光交通の拠点間移動を確保するための共創的地域交通ビジネスモデル事業計画策定にあたり、ワークショップによる具体的な事業計画の策定とヒアリング等によるその仮説検証を行うことにより、持続的、共創的、かつ具体的な交通ビジネスモデルを構築するための事業計画の策定スキルを習得した。 ②令和4年度に兵庫県西宮市立北六甲台小学校にて6年生の総学習の授業で、年間を通じて公共交通(路線バス)があることにより地域の活性化や社会参画へのつながりを学ぶ取組みを実施した。構成員としては、学校以外に、地元自治会、西宮市、阪急バスである。 学びの結果、全校生徒を対象に路線バスに関するアンケートや地域の魅力を伝える周知活動や募金活動を行い、路線バスの利用者数を増やす取組みを生徒自らが実施し、生徒自身が将来の地域の姿や公共交通のことを考えるきっかけとなり、その活動を見守る大人が未来を考えるきっかけとなった。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

- 交付決定後に、プログラムの詳細や実施手法について検討・決定後、9月中旬以降、勉強会及びワークショップを実施する。事業期間の後半には、ワークショップで議論されたアイデアを具現化するとともに、その取組みの検証・評価を行う。
- さらに、ワークショップやアイデアの具現化、あるいは検証・評価についての報告会を実施し、**参加者同士のさらなる知識やノウハウの向上**、あるいは交流・相談の場を設け、次年度の取組みや他地域（川西市外を含む）への展開等に向けたアフターフォローとする。



時期	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
実施内容	交付申請	プログラム詳細検討		勉強会（月1回程度）	ワークショップ・アイデアの具現化		具現化した取組みの検証・評価	実績報告（報告書作成）

地域の主体的な取組推進に向けた地域住民・地方議員の育成プログラム

応募様式A

川西市グリーンハイツ青年部

取組の詳細

（地域交通にもたらされる効果）

- 地域公共交通に関心のある地域住民や地方議会議員は一定数存在するものの、交通事業者の現状や財政的な視点等が抜け落ちたやや非現実的な要望・陳情に留まってしまい、前に進まないことも多くみられる。地方公共団体における予算の議決権を有する地方議会の議員や、実際に利用者となる地域住民が、地域公共交通に関する知識やノウハウを蓄積することにより、（単なる陳情・要望にとどまらない）自治体担当部局と対等に協議・調整等を行うことが可能な存在となり、地域公共交通に関する継続的な予算確保、施策・事業の推進・レベルアップ等につながることを期待できる。
- 本事業では、育成人材数として、川西市多田グリーンハイツ地区における地域住民約40名、川西市議会議員を含む地方議員約10名を目指すとともに、事業期間内に1件以上の地域公共交通の活性化に向けた取組みを試行的に実施することを目指す。

（地域全体に及ぶ効果）

- 多田グリーンハイツにおいて移動課題についてワークショップで話し合うだけに終わらず、課題を解決するアイデアを具現化して取組につなげることで、地域コミュニティの活性化や、地域の賑わいづくり等につなげていく。

（補助事業実施後の予定）

- 多田グリーンハイツにおける検討・取組みの継続、組織・体制の構築等を図るとともに、市内の大規模住宅団地等への取組みの横展開を目指す。
- 参加予定の地方議会議員については、川西市議会だけではなく、宝塚市や西宮市、伊丹市、尼崎市などの周辺市議会議員も含まれており、周辺市への横展開とさらなる拡大を目指す。

資金面

地方公共団体や他分野関係者による資金拠出の予定なし